

検査成績評定項目別評定表（建築）

様式第4号の3

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	点数 1 提出書類は整っている。 2 現場の組織・体制が明確かつ現場代理人・主任技術者等が契約内容を熟知している。 3 施工計画は、必要な項目が記載されている。 4 施工図を作成し、監督員の承諾を受けている。 5 実施工程表を作成し、必要に応じて修正をしながら、工程を管理している。 6 施工計画の記載内容と現場施工方法が一致している。 7 産業廃棄物の書類が整理されており、再資源化が図られている。 8 契約内容の疑義・不整合について監督員と協議している。 9 契約内容の変更について監督員と協議している。 10 工事記録写真が工種別に見やすく整理されている。 11 工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。 12 官公庁届出など必要関係書類が整理されている。 13 施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 14 検査用使用機具や検査体制が適切である。 15 建設発生土は、適切に処理されている。 16 有害物質等が適切に処理されている。 17 ()
	評定点	合計 評価対象総項目数 重要度 / (× 2) × 100 × 1 / 6 × 30 / 100 = 点
	品質管理	点数 1 杭材料の材料検査を実施し、規格または機能を証明する資料が整理されている。 2 鉄筋の材料検査を実施し、規格または性能を証明する資料が整理されている。 3 鉄筋の圧着試験結果が良好で、それを証明する資料が整理されている。 4 コンクリートの調合、強度が規格値を満足し、それを証明する資料が整理されている。 5 鉄骨の材料検査を実施し、規格または性能を証明する資料が整理されている。 6 鉄骨の溶接検査結果が良好で、それを証明する資料が整理されている。 7 建具の性能等級が設計図書を満足し、これを示す資料が整理されている。 8 塗装の種類が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が整理されている。 9 仕上材料の性能試験を実施し、要求性能を証明する資料が整理されている。 10 材料検査が、適切な時期、内容で実施され、監督員の確認を受けている。 11 品質管理に関する工事記録写真が整理されている。 12 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 13 ()
評定点	合計 評価対象総項目数 重要度 / (× 2) × 100 × 1 / 6 × 30 / 100 = 点	

検査成績評定項目別評定表（建築）

様式第4号の4

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来形ばえ	点数 1 杭芯のズレ・杭施工長さ等、杭の施工精度が良好である。 2 鉄筋の配筋状態が良好なことが確認できる。 3 型枠内の清掃が行き届いており梁・スラブ・壁内に鋸くず、ゴミ等がない。 4 コンクリートの寸法精度（位置・断面寸法・平坦さ）が良好である。 5 コンクリートの打ち上がり状態が良く、コールドジョイント・ジャンカが少ない。 6 鉄骨のボルトの締め付けが、仕様書の手順どおりに行われ、これが確認できる。 7 鉄骨の建て入れ試験結果が良好である。 8 防水工事に関する納まり（水たまり、ふくれ、端部処理）は良好である。 9 シーリング材が適材適所に使用され、納まりは良好である。 10 タイルの貼り付け精度が良好で、工法は設計図書の内容を満足している。 11 木工事の取付精度が高く、隙間、きしみ等の問題はない。 12 各仕上げ材料の表面仕上げや端部処理の状況は良好である。 13 左官仕上げの状態に不陸、クラックがない。 14 建具（ドア、サッシ類）の可動部分の不具合がない。 15 ガラスの厚み、種類、留め材の施工は適切である。 16 戸当たり、手摺、ハンドル類の取り付け位置等、使い勝手への配慮がある。 17 塗装の塗り残し、ムラがない。 18 仕上塗材の塗布量が設計図書の塗布量を満足している。 19 仕上げ材料の取り付けは、精度が高く、バラツキがない。 20 設備工事との取り合いに係る問題がない。 21 適切な養生が行われ、汚れや傷がない。 22 適切なクリーニングが行われ、施工時の残材、埃等がない。 23 自社の管理基準による社内検査を実施し、これに合格している。 24 [改修] 外壁改修の設計数量と実施数量が把握されそれを示す資料がある。 25 出来形、精度の確保に向けた、創意工夫が見られる。 26 出来ばえの向上のための、創意工夫が見られる。 27 () 28 ()
		評定点 合計 評価対象総項目数 重要度 / × 2 × 100 × 4/6 × 30/100 = 点

- 各評価対象項目は、A(2点)・B(1点)・C(0点)の3段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 評定点は次の算式により算出する。（小数点第2位を四捨五入）

$$(\text{評価した項目の得点合計}) / \text{評価した項目数} \times 2 \times 100 \times \text{重要度} \times 30 / 100$$
（検査員のための評定時は30/100を乗じない。）
- 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
- 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。